

芸術文化選奨

受賞年度：昭和63年度

受賞区分：文化賞（個人）

氏名又は団体名	しばた あきら 柴田 明		
代表者(団体のみ)		設立年(団体のみ)	
住所	瀬戸市	会員数(団体のみ)	
ホームページ			

受賞時の業績概要

分野：工芸

伝統技術に独自の意匠を加えた作風は、七宝工芸の分野において全国的に高く評価され、その作品は日本伝統工芸展をはじめ各種の公募展において、数多くの賞に輝いている。又、日本工芸会東海支部の幹事として後進の育成と指導にあたるなど、本県芸術文化の振興と向上に貢献し、今後もその活躍が期待されている。

経歴・業績・近年の活動内容

【略歴】

昭和17年7月 三重県に生まれる
 昭和36年 愛知県立瀬戸窯業高等学校卒業、安藤七宝店入社
 昭和50年 日本工芸会正会員
 昭和56・60・61年 日本伝統工芸展監査委員
 昭和60年 東海伝統工芸展審査員
 昭和63年 日本工芸会東海支部幹事

【主な作品】

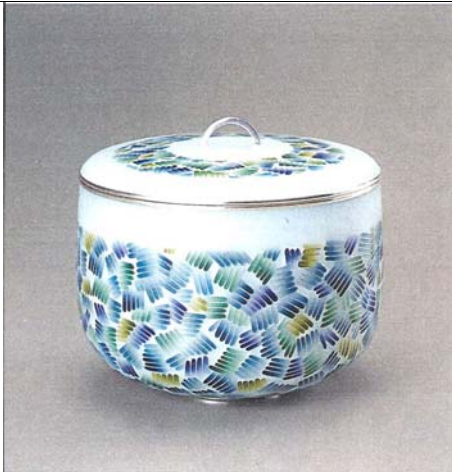
「玉釉七宝花瓶」（昭和47年 東海伝統工芸展東海支部奨励賞）
 「七宝宝石箱」（昭和54年 東海伝統工芸展中日賞）
 「七宝水指」（昭和54年 日本伝統工芸展日本工芸会奨励賞）

【主な業績】

昭和45年 第17回日本伝統工芸展初入選 以後39回入選
 昭和56年 第28回日本伝統工芸展鑑査委員 以後15回
 昭和60年 第16回東海伝統工芸展審査委員 以後26回
 昭和63年 愛知県芸術文化選奨文化賞受賞
 平成元年 第5回伝統工芸第7部会展鑑査委員 以後3回
 平成3年 西部工芸展審査委員 以後6回
 平成8年 第43回日本伝統工芸展出品作品宮内庁買上
 平成12年 日本伝統工芸中国支部展審査委員
 平成15年 日本伝統工芸展50年記念展「わざの美」出品
 平成20年 柴田明七宝展（瀬戸市美術館）
 平成22年 尾張七宝伝統工芸士（総合部門）認定
 平成22年 瀬戸市無形文化財「有線七宝」認定



柴田 明



銀胎七宝抽象文水指 径18.0 高17.0 柴田 明

銀胎七宝抽象文水指 径18.0 高17.0